

【平成17年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	ユビキタス社会に対応するIP電話技術者を育成する教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人麻生塾		
学校名	麻生情報ビジネス専門学校		
代表者	麻生 泰	担当者・連絡先	IT教育推進室 徳重 稔 092-415-2290
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <p>通信費の低価格化により、インターネットを利用した電話、いわゆるIP電話が急速に普及している。このIP電話の技術はアナログ電話技術とは全く違った取り組みが必要なだけでなく、ルーティングやトラフィック制御などのインターネット技術の知識習得も必須である。</p> <p>本事業では、これからのユビキタス社会では核となるIP電話技術者を育成する実践的カリキュラムを開発し、実証研修を通してその内容に関する検証を行った。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>本事業の実施にあたっては、平成17年8月23日第1回委員会より平成18年3月10日の第10回委員会までの委員会活動を通して、企業が求めるIP電話技術者像や技術内容を調査し、IP電話技術者の育成プログラムを開発した。その後、実証研修を実施し内容について検証を行った。</p> <p>活動内容及び成果内容を以下に報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 製作成果物</li> <li>2. 総括</li> </ol> <p>【1. 製作成果物】</p> <p>本事業活動において製作した成果物は、以下である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) IP電話技術者育成プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>国内、国外のIP電話技術に共通した内容と国内の技術に特化した部分を明確にし、IP電話の理解を促進する。</li> </ul> </li> <li>(2) 実機演習課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>理解を助けるため、各社メーカーの機材、技術を実装した製品による演習により、理解の度合いを図れるものとする。</li> </ul> </li> <li>(3) 実施要領マニュアル <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の機材の実習時にも対応できるように、講師用のマニュアルを作成した。</li> </ul> </li> <li>(4) 企業が求めるIP電話技術者像および技術内容の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム開発を、企業ニーズに合わせた内容とするために必要な調査である。</li> </ul> </li> <li>(5) 主要なメーカーの製品や利用されている技術の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>現場でより利用されている製品を絞り、プログラム開発や実習開発の効率化を図る。</li> </ul> </li> </ol>			

(注)

- (1)～(3)を「IP電話技術者育成プログラム」として一冊にまとめた。
- (4)(5)を「IP電話調査報告書」として一冊にまとめた。

## 【2. 総括】

変化が激しいネットワーク業界の中で、IP電話という独自技術を必要とする教育プログラムを開発することは、大変難しいものであった。

しかし、多くの専門学校で使われている海外メーカーのカリキュラムとは違い、国内メーカーの実情に合ったプログラムになったと思う。これには、企業へのヒアリングやアンケート、視察などの調査によりIP電話市場や技術を十分に分析した結果ではないかと思う。

実習で利用する機材はかなり高価なものにはなるが、テキストだけでも十分に理解が深まる内容である。今後は専門学校をはじめネットワーク教育を行っている企業への周知を行い、高度な技術を目指す人材育成への活用を促したい。